

植付前の1回使用で、収穫までコガネムシ類幼虫を防除できます。

ダイアジノンマイクロカプセル剤

ダイアジノン[®] SLゾル

農林水産省登録：第17620号

殺虫剤分類 1B

- 種類名：ダイアジノンマイクロカプセル剤
- 成分：ダイアジノン(化管法1種).....25.0%
(2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6)-
ジエチルチオホスフェート
- その他成分：水、溶剤等.....75.0%
- 性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)



特長

① 1回の使用で コガネムシ類幼虫を 150~180日以上防除。

ダイアジノンを高分子膜で包んだマイクロカプセル剤のため、安定した状態で長期間保たれ、土壤中で150日から180日以上長期にわたり持続効果を発揮します。

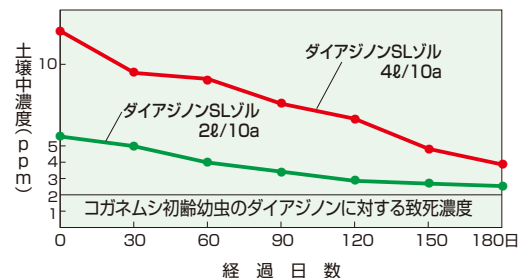
② 毒性が大幅に軽減 されました。

普通物*です。*普通物とは毒劇物に該当しないものを指していう通称。

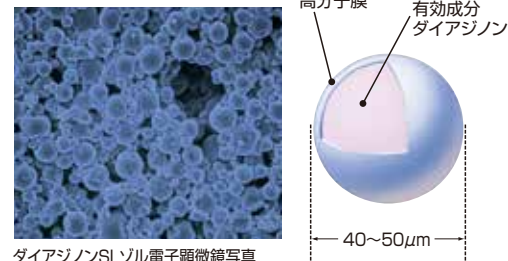
③ 低臭性の薬剤。

水ベースの薬剤のため、散布時の臭いが少ない薬剤です。

●ダイアジノンSLゾルの土壤中での消長 日本化薬(株)
ダイアジノンSLゾルは、土壤中では150~180日以上長期にわたり効果を発揮します。



●マイクロカプセル剤について
ダイアジノンSLゾルのマイクロカプセルは、平均粒径が40~50ミクロンの微粒子です。製剤は粘りのある白色の液体です。



上手な使い方



適用害虫と使用方法

(2024年10月現在 一部抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	ナカジロシタバ	1,000倍	100~300ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、 マイクロカプセル剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内
	コガネムシ類幼虫	50倍	100ℓ/10a	植付前	1回	全面土壌混和 又は 畝立前作条散布	
		25倍				全面土壌混和	

ダイアジノンは日本化薬株式会社の登録商標です。

特長

植付前の1回使用で、収穫までコガネムシ類幼虫を防除できます。

ダイアジノンマイクロカプセル剤



効果的な
散布方法

●動力噴霧機散布

薬液が霧状に飛散しないようにノズルを調整してください。



●乗用トラクター搭載散布

散布と土壌混和が同時にできます。



●軽トラック搭載散布

大容量のタンクを搭載できるため、大面積への散布に適しており、散布時間が短縮できます。

注) 半クラッチ走行は故障の要因となりますので、ご注意ください。



トラクター搭載散布の場合は、散布時に混和が同時に行なえます。

1 整地



散布前に畑の耕起、碎土を十分に行ない、ていねいに整地してください。

2 薬剤希釈

希釈後は直ちに散布してください。

使用前には
ボトルをよく
振ってください。



薬量

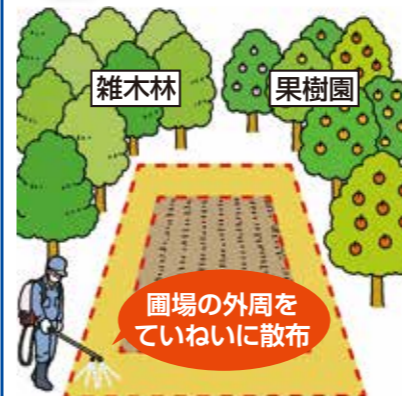
10aあたり
SLゾル2~4ℓ
水100ℓ

3 薬剤散布



畑の全面にまきむらのないよう均一に散布してください。薬剤のないところは効果がありません。

4 効果的な使い方



圃場の外周を
ていねいに散布

被害の多い圃場では、特に圃場の外周をていねいに散布してください。

5 混和



散布後、なるべく早く混和してください。混和は15~20cmの深さで、圃場全面に均一になるようにしてください。

6 植付



散布液の作り方

ダイアジノンSLゾルは粘りのある液体のため、2段階希釈がポイントになります。

貯蔵中に沈殿を生じることがあるので、使用前にはボトルをよく振ってください。

- 希釈後は直ちに散布してください。
- 希釈後に静置した場合は、散布前に十分攪拌してください。

第1段階



1 ボトルの半分量のSLゾルをバケツなどにあけ、等量~倍量の水を加えてよく混ぜ合わせます。

2 残りのSLゾルにボトルの1/3~1/4程度の水を加え、よく振ってください。

3 ②を①のバケツに加え、よく攪拌します。ボトルにSLゾルが付着している場合には、もう一度水を入れ、よく振って洗浄し、バケツに加えてください。

第2段階



4 タンクにあらかじめ水を入れ、第1段階で作った希釈液を入れます。さらにバケツを洗浄した液もタンクに加えます。

5 所定量になるまで水を加え、よく攪拌してください。均一な散布液ができ上がります。

⚠️ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってください(沈殿)
- 散布液調製後は速やかに使用してください。
- 希釈調整後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌してください。
- 散布量は対象作物の生育段階・栽培形態及び散布方法に合わせ、所定量の範囲内で調整してください。
- なしのポット育苗時に使用する場合、処理面積に応じた使用量を散布し、軽く混和してください。
- いちごのポット育苗時に使用する場合、使用液量を1㎡当たり定植する株数で除した液量を各ポットに灌注してください。
- コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農業を高圧噴射できるインジェクターを使用してください。
- コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合は、コアリング時の目土前に処理してください。
- 樹木類の培土処理の場合、薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用量を調整し、培土と混和してください。
- ミツバチに対する注意
 - 巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行

われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 薬にかからないように注意してください(蚕毒)
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠️ 安全使用上の注意事項

- 使用時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を換えてください。作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の指導を受けてください。使用中に異常を感じた時は、直ちに医師の指導を受けてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください(弱い刺激性)
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 公園などで使用する場合は、使用区域に縄囲いや立て札をたて、使用中及び使用後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。

魚毒性等…河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください(甲殻類)
使用残りの薬液が生じないよう調製し、使い切ってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。低温時は保管場所に十分注意し、凍結をさけてください。

火災時の措置…周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移動し、散水冷却してください。着火した場合は消火器(粉末、炭酸ガス、泡)にて消火してください。

漏出時の措置…少量の場合は、布等で拭取り回収してください。多量の場合は砂等に吸収させ、密閉容器に回収してください。火災時、漏出時の措置作業は必ず農業用マスク、手袋等の保護具を着用してください。

廃棄上の注意…使用残液が生じないよう使い切ってください。洗浄水などは河川に流さず、周囲に影響のない方法で処理してください。空容器は環境に影響のないよう適切に処理してください。

輸送上の注意…移送取扱いはていねいに行ってください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場等に放置せず、適切に処理してください。

